

## 音楽科

### ・27年度の「改善プラン」の検証（取り組みにおける成果と課題）

授業で、自分なりの目標をもち、授業を振り返って自己評価カードに記入することが定着してきた。歌唱では、姿勢に気をつけて、しっかり声を出そうとする生徒が増えた。自主的な練習は定着していないので、パートリーダーを育て、練習方法を身につけさせたい。器楽のアルトリコーダーは、スタンプカードを活用し、自主的に練習に取り組めるようになった。自分で音符を読むことができない生徒に、読譜力をつける取り組みが必要である。鑑賞は、まだ感想を共有する時間が取れていない。話し合いや共有の場をつくっていききたい。

### ・27年度の「改善プラン」の分析と課題

観 点	分 析	課 題
1 音楽への関心・意欲・ 態度	授業規律は定着してきた。自己評価カードも、次の課題を見つけたり、振り返りをする生徒が増えた。	合唱のパート練習の方法を身につけさせ、自主的に取り組めるように指導していききたい。
2 音楽表現の創意工夫	楽譜にかいてある音符・休符、記号を意識するよう、取り組ませてきた。音楽記号については、しるしをつけたり、表現を考える生徒も目につくようになった。	楽譜にかいてあることから、音楽を感じ取り、表現を考えさせたい。合唱コンクールに向け、クラスやパートの中で話し合う機会もつくって取り組ませる。
3 音楽表現の技能	歌唱でしっかり声を出そうとする生徒は多くなった。リコーダーで、タンギングを注意するよう声かけをし、意識する生徒も少しずつ出てきた。	歌唱では、口をしっかりあけ、表情豊かに歌えるように発声を指導していく。リコーダーでは、タンギングができるよう定着させる。
4 鑑賞の能力	鑑賞する曲の目標をはっきり示し意識することが、定着してきた。音楽を感じ取り、文章で感想を書く生徒も増えてきた。	自分が感じたことを、どのように文章で表現するかをしっかりと考えさせたい。

### ・28年度の授業改善策

（第1学年）授業規律を確立し、遅刻忘れ物をしないことを定着させる。合唱での口の開け方を意識させて、のびのびと発声できるよう声かけをする。式典でも校歌を大きな声で歌うことを促していく。アルトリコーダーの指番号を覚えていけるよう、2学期以降に学習回数を増やす。鑑賞での、感想を文章にできるよう聴くポイントをはっきりと示し、考えさせる。

（第2学年）授業規律をしっかり確立し、学ぶ姿勢をきちんともてる雰囲気作りを心がける。合唱ではクラスとして、どのように協力するかを意識させる。お互いの声を聞き、改善点を自ら考えるよう促していく。アルトリコーダーは、自主的に練習できるよう指づかいを確認し、自分の練習すべきところをはっきりと示していく。鑑賞では、目標をはっきりさせ、何を感じ取るかを考えて文章で書けるようにする。

（第3学年）自主的な活動を増やし、自分たちで考えさせる機会を増やす。合唱コンクールの機会に、下級生の手本になるような、行動ができるように授業の中で方法を考えさせる。アルトリコーダーで自主的な活動を増やし、お互いに教えあえるように声かけをしていく。鑑賞では、自分の考えを発表できる機会をつくり、言語活動を高める機会をつくる。